

数字でひもとく 近大生の学び 2024

Vol.1

近畿大学では中期計画で「内部質保証」に向けた方策とともに、多様な学生の進路や学生生活に関するきめ細かい支援の充実を掲げています。これを実現するために学生の学修意欲を高め、不安を払拭するための教育活動を展開し、学修環境を提供しています。その結果、多くの学生が卒業時にさまざまな学修成果を得ることができ、卒業後も大学の学びを役立てています。近畿大学は今後も学生の学修成果につながる教育活動や学修環境の充実を図り続けます。

近畿大学が第1志望であった学生 近畿大学に入学を決めて満足している

48% ^{※1} 92% ^{※1}



高い満足度で学生生活を送ることができるよう支援します

入学時に学生が最も「力を入れたい」こと



- 1位 専門分野の勉強 ^{※1}
- 2位 資格やスキル取得
- 3位 教養を身につけるための勉強

意欲のある学生を多面的に応援します

入学時に「将来起業したい」と考える学生



26% ^{※1}

KINCUBAを中心とした起業支援に力を入れています

科目間の関連やカリキュラムの全体像を理解している学生



86% ^{※2}

カリキュラムの全体像の理解に努めています

学修支援施設を利用している



58% ^{※2}

学内の学修支援体制を整えています

グループワークや話し合いに積極的に参加した



83% ^{※2}

積極的な発信ができる学生を育成しています

3年次までにインターンシップを経験した



62% ^{※2}

インターンシップを教育として積極的に活かしています

教職員一人ひとりが真摯に学生の悩みや不安に向き合います



24% ^{※2}

3年次までに退学を検討したことがある

24% ^{※2}

大学で成長を実感した卒業生



84% ^{※4}

学生が成長できる機会を数多く提供します

「人に愛される人」「信頼される人」「尊敬される人」になれた／近づけた



74% ^{※3}

本学の教育の目的で求められる人物像を育成しています

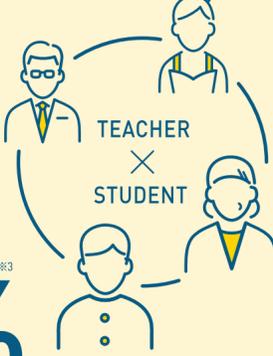
専門的な学力や考え方が身についた／コミュニケーション力が身についた



82% ^{※3}

専門性と汎用的能力の双方を高める機会をさらに充実させます

教員と親しく接することができた学生



74% ^{※3}

学生との適切な接し方で成長を促します

在籍した学科・専攻に満足した学生



85% ^{※3}

満足につながる経験や環境が学修成果を高めています

大学での学びが卒業後の人生に役立っている



76% ^{※4} 83% ^{※4}

多くの卒業生が近畿大学での学修成果を実感しています

※1. R5年度1年生対象GPS-Academic(学生意識調査) ※2. R5年度3年生対象GPS-Academic(学生意識調査) ※3. R4年度卒業アンケート ※4. R5年度卒業生アンケート(全国の数値は、同様の卒業生調査を実施している大学全体の平均値)